

もみの湯

Mominoyu
(長野県原村)



外観

グレステンスキーというものをご存じだろうか。プラスチックのマットの上を車輪のついた特殊なスキー板「グランジャー」を使って滑走するスポーツだ。今回紹介するもみの湯の近くには、八ヶ岳自然文化園というレジャー施設があり、その中にグレステンスキー場がある。利用料金は、自分のスキーブーツを持ち込めば、グランジャーのレンタル代とリフト（正確には簡易なTバーリフト）代込みで大人1日3,000円だ。夏でもスキーをしたい人はぜひこのグレステンスキーを体験するべきであろう。グレステンスキーは、グラススキーのように摩擦が大きくなり、自然な感じで板をハの字型の動き、上達すればカービングも可能だ。但し、雪のように柔らかい地面ではないので、転倒した時はかなりの痛みを伴うことを覚悟しなければならない。本日は、このスキー場で1日汗を流した上で、そしてあちらこちらに傷を負った上で、このもみの湯へやって来た。

もみの湯の特徴は何と言ってもその入浴料金の安さであろう。大人500円だが、17:00以降は何と300円に値下げ。しかし、安いからと言って質が悪いわけではない。

ロビーは広く、入浴後の休憩のためにくつろげるスペースとなっている。名物の八ヶ岳のアイスクリームも販売されている。和室の休憩室も巨大で、蕎麦などの軽食が可能だ。

脱衣室にはロッカー（無料）と脱いだものを入れる籠がある。貴重品がある場合はロッカーを使用しよう。

浴室には洗い場が12か所。取材班が訪れた日曜日の夕方は、洗い場待ちの行列ができていた。カランは自閉式サーモスタット混合栓。リンスインシャンプーとボディークリーム、固形石鹸が具備されている。他にシャワーブースも2か所ある。

浴槽は内湯と露天にそれぞれ 1 か所ずつ。湯は薄い茶色で濁った外観だ。何やら効能がありそうである。グレステンスキーで負った傷が癒されていく。湯温は両方とも適温だ。露天風呂は大きな小屋組みの下にあり、水深が若干深い。

サウナは定員 10 人程度か。温度計がないので室内温度は不明だが、かなり熱く感じる。座る場所にマットが敷かれていないので、自分のタオルを座布団代わりにするしかない。水風呂もある。

ちなみにもみの湯は、ナトリウム-硫酸塩・塩化物温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）で、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後の回復、疲労回復、健康増進に効くという。

もみの湯は、八ヶ岳周辺でアクティブな休暇を過ごした後の癒しの場だ。

- **名称**：もみの湯
- **所在地**：長野県諏訪郡原村 17217-1729
- **電話**：0266-74-2911
- **営業時間**：10：00～21：30（最終受付 21：00）
- **定休日**：第 3 水曜日（祝日の場合は翌日休み）
- **入浴料**：大人 500 円、小人 300 円（17：00 以降は大人 300 円、小人 150 円）
- **サウナ**：あり
- **サウナ内のテレビ**：なし
- **取材日**：2013 年 7 月 27 日（土）
- **取材**：銭湯愛好会・東京支部